

# 久留米教区 公開学習会のご案内

## 講題 「見真額」について

～宗祖の「大師号」と「勅額」～

講師 鶴見 晃 氏

(教学研究所所員)



次第に明らかになってきた大師号と勅額の歴史は、当時の教団状況がうかがわれる歴史であるとともに、国家と宗教との関係において深く考えさせられる歴史です。この歴史の上に現在の宗門があることを考えるとき、そこから宗門にかかわる一人ひとりの課題をくみとっていく必要があります。

宗派としては、すでに1981年の宗憲改正を機に「大師堂」という呼称を旧に復して「御影堂」と改称し、2001年には授与物の御影について、宗祖、蓮如上人、法然上人の大師号使用を取りやめています。そして近年、御影堂に掲げられている「見真」の勅額を降ろすべきかどうかということが議論されてきています。

教団の歴史を検証し、なぜこのような歩みとなったのかを明らかにする。それは単に過去の出来事を知ることでなく、過去の時代と社会を生きた真宗門徒を通して、現在の私たちの歩みを確かめる学びです。

(真宗大谷派教学研究所「見真額」学習資料集より)

日時 2017年5月15日(月)

15時(受付) 15時半～18時

会場 久留米教務所

参加費 無料